

# ロボット動いた「やった」



ロボットにプログラムを組み込む児童  
(秋田職業能力短期大学校)

## 小学生がプログラミング おおだて人材育成 コンソーシアム

小学生を対象としたロボット教室が4日、大館市の秋田職業能力短期大学校で開かれた。組み込んだプログラム通りにロボットを動かそうと試行錯誤を繰り返しながら学びを深めた。

大館商工会議所などがつくる「おおだてロボット人材育成コンソーシアム」(佐藤義晃会長)主催。広くプログラミング

小学生を対象としたプログラミングに理解を深め、ものづくりに通じて課題解決能力を養ってもらうと企画した。

大館少年少女発明クラブ(石垣勝康会長)の会員児童18人が参加。初級と中級のコースに分かれて、車輪で走るロボットのプログラミングに挑戦した。職能短大教員や同クラブ指導員からプログラミングの仕方やロボットの扱い方などの説明を受けながら作業した。

初級コースの児童は、50秒進んで停止するプログラム作りに取り組んだ。速度や走行時間などの数値を調整してロボットの試走を繰り返した。途中で止まったり、行き過ぎたりしたが試行錯誤し、設定通りに動く「やった」と歓声が上がった。

石垣俐人さん(桂城小3年)は「プログラム通りにロボットが動く楽しい。将来は人の手伝いができるロボットを作りたい」と夢を語った。